

平成 22 年度第 2 回常務理事会（通信会議）議事録

日 時：平成 22 年 7 月 16 日（金）～7 月 30 日（金）

参加者：

理事長：吉村 泰典

副理事長：落合 和徳、和氣 徳夫

理事：岩下 光利、岡井 崇、嘉村 敏治、吉川 史隆、小西 郁生、櫻木 範明、星合 昊、
吉川 裕之

監事：岡村 州博、星 和彦、丸尾 猛

第 64 回学術集会長：平松 祐司

幹事長：矢野 哲

幹事：内田 聡子、梶山 広明、北澤 正文、久具 宏司、榊原 秀也、多賀谷 光、
橋口 和生、濱田 洋実、阪埜 浩司、増山 寿

総会議長：松岡幸一郎

総会副議長：佐川 典正、清水 幸子

事務局：荒木 信一

吉村理事長から平成 22 年 7 月 15 日付各役員、学術集会長、議長団、幹事団、委員長あて、平成 22 年度第 2 回常務理事会を 7 月 16 日から 7 月 30 日迄を期間として、通信にて行う旨の通知と通信会議次第（協議事項、報告事項）及び関連資料が送付された。予定通り 7 月 16 日に通信会議が開始され、理事長、副理事長、常務理事の総数 11 名全員が参加した。吉村理事長が議長となり、議事録署名人として、理事長及び副理事長の計 3 名が選任された。

I. 協議事項

協議 1：次世代を担う男女産婦人科医師キャリアサポート委員会で実施したアンケート調査結果がまとめ、その内容を杉浦委員長が英文論文にまとめました。これを日産婦「次世代を担う男女産婦人科医師キャリアサポート委員会」の名前で Am J Obstet Gynecol に投稿してよいか、諮りたい。〔資料：協議 1〕

岩下理事「投稿するのは良いと思うが、AJOG で掲載してくれるかは不透明なのではないか。JOGR であれば岡井先生に依頼して掲載してもらうことができる。」

落合副理事長「米国産婦人科学会(ACOG)の official journal は Obstetrics and Gynecology (Green Journal) だが、投稿は Am J Obstet Gynecol (Gray Journal) にすることを確認したい。」

佐川副議長「投稿して一般会員にも広報することは賛成である。その意味からすると、AJOG ではなく本会の英文 official journal である JOGR が妥当ではないかと思う。」

杉浦理事より「この調査は Am J Ob/Gyn などに掲載されている米国医師の労働調査を参考に作成した。アンケートの回収率が低いため reject される可能性はあるが、その場合は JOGR への掲載をお願いしたい。」との回答があった。〔資料：協議無番〕

本協議事項について特に異議なく、全会一致で承認された。

II. 業務担当常務理事報告

1) 総務 (岩下光利理事)

〔I. 本会関係〕

(1) 会員の動向

佐藤 章 名誉会員(福島)が6月28日に逝去された(弔電、生花手配済)。

なお7月4日に葬儀が行われ、落合副理事長が理事長名での弔辞を述べた。

鍋倉 正夫 功労会員(鹿児島)が6月28日に逝去された。(弔電、生花手配済)

北原 敬市 功労会員(千葉)が7月3日に逝去された。(弔電、生花辞退)

(2) 専門委員会

(イ) 生殖・内分泌委員会

①ホルモン補充療法ガイドライン頒布状況について

7月14日現在、入金済4,707冊、校費支払のため後払希望 5冊。

(3) 中期計画検討ワーキンググループ

9月17日に第1回会議を開催する予定である。

(4) 幹事の辞任・委嘱について

辞任：橋口 和生先生 総務、社保、広報、若手育成(主務)の幹事を辞任される。

委嘱：小林 陽一先生(総務)、寺田 幸弘先生(若手育成主務)

なお、社保幹事、広報幹事の後任はないが、橋口先生には社保委員を引き続きお願いしたい。

(5) 運営委員会委員の辞任・委嘱について

辞任：橋口 和生先生

委嘱：小林 陽一先生

〔II. 官庁関係〕

(1) 厚生労働省

①厚生労働省医薬食品局から、レナリドミド製剤の適正使用の徹底のため、会員への周知依頼があった。機関誌およびHPへの掲載により対応したい。[資料：総務1]

〔III. 関連団体〕

(1) 日本医師会

日本医師会との共催で「平成22年度女子医学生、研修医等をサポートするための会」を開催して頂きたいとの依頼が同会よりあった。[資料：総務2]

(2) 日本癌治療学会

同学会より、がん診療ガイドライン委員会子宮頸がん、子宮体がん各委員等の推薦依頼があり、日本婦人科腫瘍学会との調整を経て推薦する委員を決定した。[資料：総務3]

〔IV. その他〕

(1) 関連新聞記事 [資料：総務4]

以上、総務報告事項については、特に異議なく了承した。

2) 会 計 (和氣徳夫副理事長)

特になし

3) 学 術 (吉川裕之理事)

(1) 他団体特別賞推薦依頼について

①平成 22 年度日本医師会医学研究助成費

日本医師会に奈須家栄会員の研究を推薦した (平成 22 年 6 月 21 日)。

②「研究業績褒章 (上原賞)」「平成 22 年度神澤医学賞」

各理事、学術委員会委員に推薦を依頼した (推薦締切 7 月 31 日)。候補者が推薦された場合、通信で選考を行う予定である。

(2) ガイドライン—産科編

①「産婦人科診療ガイドライン—産科編 2008」頒布状況について 7 月 13 日現在、入金済 11,780 冊、後払希望 8 冊。

(3) ガイドライン—婦人科外来編 特になし

以上、学術報告事項については、特に異議なく了承した。

4) 編 集 (岡井 崇理事)

(1) 会議開催

①7 月 16 日に第 1 回 JOGR 全体編集会議を開催した。

(2) 英文機関誌 (JOGR) 投稿状況 : 2010 年投稿分 (6 月末現在)

投稿数 473 編 (うち Accept 27 編、Reject 148 編、Withdrawn/Unsubmitted 85 編、Under Revision 53 編、Under Review 144 編、Pending 16 編)

以上、編集報告事項については、特に異議なく了承した。

5) 渉 外 (落合和徳副理事長)

(1) 会議開催

①第 3 回渉外理事・幹事会議を 12 月 10 日に開催の予定である。

[FIGO 関係]

(1) FIGO Executive Board Meeting (6 月 25~26 日、於 : タンザニア) 報告 [資料 : 渉外 1]

(2) FIGO World Congress 2012 について、本会より 10 名のスピーカーを推薦した。

[SOGC 関係]

(1) 第 63 回日産婦学術集会における Exchange Program に SOGC 役員 3 名、若手医師 3 名を招待したい旨 SOGC へ連絡した。

[その他]

(1) 海外学会・研修会交流スケジュールについて(SOGC 役員派遣人数修正) [資料: 渉外2]
嘉村理事「日韓シンポジウムは日産婦、韓産婦の公式行事であり、それぞれの学会でコーディネーターが決められているので、本スケジュールの中にコーディネーター名も入れておいた方がよい。」

以上、渉外報告事項については、特に異議なく了承した。

6) 社 保 (星合 昊理事)

(1) 会議開催

①第2回社保委員会を9月24日に開催する予定である。

以上、社保報告事項については、特に異議なく了承した。

7) 専門医制度 (櫻木範明理事)

(1) 会議開催

8月27日に平成22年度認定二次審査筆記試験問題評価委員会を開催する予定である。

(2) 平成22年度専門医認定二次審査

東京会場(日本都市センター)と大阪会場(千里ライフサイエンスセンター)で、7月24日に筆記試験、25日に面接試験を実施する。

(3) 地方委員会宛に専門医認定一次審査結果通知書、面接担当者に案内を送付した(6月29日)。

また、一次審査合格者に対し審査通知と二次審査受験票を、再申請者に対し二次審査受験票を送付した(6月28日)。

以上、専門医制度報告事項については、特に異議なく了承した。

8) 倫理委員会 (嘉村敏治委員長)

(1) 本会の見解に基づく諸登録(平成22年6月30日)

- ①ヒト精子・卵子・受精卵を取り扱う研究に関する登録: 44 研究
- ②体外受精・胚移植の臨床実施に関する登録: 618 施設
- ③ヒト胚および卵子の凍結保存と移植に関する登録: 618 施設
- ④顕微授精に関する登録: 507 施設
- ⑤非配偶者間人工授精に関する登録: 16 施設

(2) 着床前診断に関する臨床研究申請・認可について

6月30日現在申請172例 [承認152例, 非承認4例, 審査対象外15例, 取り下げ1例]

(3) 講習会開催

「生殖医療に関する遺伝カウンセリング受入れ可能な臨床遺伝専門医認定講習会」を7月4日に東京ステーションコンファレンスで開催した。

(4) 「生殖補助医療研究目的でのヒト受精胚の作成・利用に関する倫理指針」案を厚生労働省と文部科学省で作成し、8月7日までの間、パブリック・コメントを実施することとなった。

本件 HP に掲載し会員に周知したい。 [資料: 倫理1]

以上、倫理委員会報告事項については、特に異議なく了承した。

9) 教育 (小西郁生理事)

(1) 会議開催

8月20日に第63回学術講演会時若手医師企画打合せ、9月10日に若手医師企画委員会を開催の予定である。

(2) 第63回学術集会における若手医師企画の準備のため、本年度専門医筆記試験時に受験者からアンケート調査を行うこととなった。

(3) 専門医認定筆記試験問題の作成について

7月6日に試験問題最終版を専門医制度委員会に提出した。

(4) 「産婦人科研修の必修知識2007」頒布状況について

7月14日現在、入金済3,487冊、校費支払のため後払希望18冊、購入依頼2冊。

以上、教育報告事項については、特に異議なく了承した。

10) 地方連絡委員会 (和氣徳夫副理事長)

特になし

III. 理事会内委員会報告

1) 広報委員会 (吉川史隆委員長)

(1) 会議開催

①第2回広報委員会・情報処理小委員会合同委員会を9月24日に開催する予定である。

(2) JOB-NET 公募情報について [資料：広報1]

(3) ACOG Website 会員専用ページログイン可能人数について [資料：広報2]

(4) ホームページアクセス状況について [資料：広報3]

以上、広報委員会報告事項については、特に異議なく了承した。

2) コンプライアンス委員会 (平松祐司委員長)

(1) 平成22年度第1回コンプライアンス委員会を通信で行った。

以上、コンプライアンス委員会報告事項については、特に異議なく了承した。

3) 医療改革委員会 (海野信也委員長)

(1) 全国保険医団体連合会から、本会と医会で提出した「出産育児一時金直接支払制度終了後の抜本的改革に関する要望書」に賛同するアピールを採択した旨の連絡があった。[資料：医療改革1]

(2) 来年度以降の出産育児一時金制度について社会保障審議会医療保険部会が7月14日に開催され、本会から海野委員長が出席した。[資料：医療改革2]

以上、医療改革委員会報告事項については、特に異議なく了承した。

4) 男女共同参画検討委員会（竹下俊行委員長）

(1) 地方部会担当公開講座について [資料：男女共同参画 1]

(2) 平成22年度女性の健康週間展開案について [資料：男女共同参画 2]

(3) 「次世代を担う男女産婦人科医師キャリアサポートのためのアンケート」について

① 調査結果報告 [資料：男女共同参画 3]

以上、男女共同参画検討委員会報告事項については、特に異議なく了承した。

5) 若手育成委員会（齋藤 滋委員長）

(1) 第4回産婦人科サマースクールに関して

① 申込者：初期研修医(整形外科医1名含む)；253名、学生；89名に対し申込み受付案内等を送付した(6月30日付)。なお、キャンセル待ちは7月6日現在13名である。

② 7月2日に齋藤 滋委員長ならびに平田修司副委員長がプログラムに沿った会場設営確認のため、ホテル翔峰で会場下見を行った。今回はホテル翔峰を全館貸し切り、1日目の夜も自由討論だけではなくアドバンスコースを設け参加者により充実した実習を行ってもらう予定である。

③ 費用等を試算したところ大幅な赤字が見込まれるため、各地方部会に援助のお願いを送付した(6月30日付)。いくつかの地方部会からお申し出を頂いている。今後もご協力をお願いしたい。

(2) 第5回産婦人科サマースクール開催場所等に関して

申込者が今年以上になった場合、ホテル翔峰では開催することが不可能となるため、参加人数の制限や別会場を考慮に入れることが必要となった。参加人数の制限はできる限り避けたいので、候補地である松代ロイヤルホテルの会場を確認した(7月2日)。日程等も含め、第4回産婦人科サマースクールまでに決定したい。

(3) 若手育成委員会委員の辞任・委嘱について

辞 任：橋口 和生先生

委 嘱：寺田 幸弘先生

以上、若手育成委員会報告事項については、特に異議なく了承した。

以上

資 料

第2回常務理事会通信会議内容

協議1：「次世代を担う男女産婦人科医キャリアサポートのためのアンケート」

調査結果報告の英文投稿論文

協議無番：協議事項に関しての質問に対する杉浦理事からの回答

総務1：レナリドミド製剤の使用に当たっての安全確保の徹底について

総務2：「平成22年度女子医学生、研修医等をサポートするための会」の開催について

総務3：がん診療ガイドライン委員会への推薦委員

総務4：7月14日付日経新聞記事「首都圏の自治体 将来の医師 助成で確保」

7月14日付朝日新聞記事「妊婦のエコー 学会で押しボタン調査」

渉外1：FIGO Executive Board Meeting 報告

渉外2：海外学会・研修会交流スケジュールについて

倫理1：生殖補助医療研究目的でのヒト受精胚の作成・利用に関する倫理指針の整備に関するパブリック・コメントの実施について

広報1：JSOG-JOBNET 事業報告

広報2：ACOG Website 会員専用ページログイン可能人数について

広報3：JSOG ホームページアクセス状況

医療改革1：全国保険医団体連合会からの賛同アピール

医療改革2：社会保障審議会医療保険部会委員名簿

男女共同参画1：地方部会担当公開講座一覧

男女共同参画2：平成22年度女性の健康週間展開案

男女共同参画3：「次世代を担う男女産婦人科医キャリアサポートのためのアンケート」